

おらがふるさとを コマーシャルに



ご覧になった方も多いかと思いますが。

特大オニギリをほお張り、「やっぱりみま米は美味い!」とカカシが感嘆するCM。昨年、「ふるさとCM大賞」に輝いた宇和島のコマーシャルです。『ふるさとCM大賞』は、山形テレビの発案で始まり、テレビ朝日系列で

「知らんなあ」という反応が時々あったのです。松山や東予にいる方が南予をよく知らない。不思議でした。「経験していないのだ」。その時、CM大賞は互いの利益にかなうと確信しました。

まずは行政トップへの説得です。市長さん町長さんは、大喜びです。次に自治体の職員へ、町のみなさんへご賛同を広げていきました。

中には、「テレビCMが無料? 本当? お金ないよ」という方もいて、私は広告セールスに来たのではないことを信じてもらうことも時に必要でした。

一方、「果たしてCMを作る人は集まるのか」という漠然とした不安もありました。

実際のCM枠で流すCMは、1フレームの狂いも許されません(テレビは1秒30フ

レームの静止画で構成されている)。CM出品をお願いするからには、カメラや編集機を駆使できる人物は必須でした。

自主的に制作者を採せない自治体もあります。首長さん大賛成。担当の方は頭を抱えている。実際は、運動会でお父さんが回す家庭用カメラで参加できますが、編集をできる人はなかなかいません。こ

うなれば草の根です。人づてやご紹介をいただきながら、普段から機材を使う方々に、お願いして歩きました。学校の放送部や町のビデオクラブ、ケーブルテレビのみなさんなどです。思いを伝えるには、こちら側は3千℃ぐらいには発熱しないと相手にはなかなか引火しにくいことが分かります。熱く語り、ポツと引火し、徐々に仲間



愛媛朝日テレビ
経営企画室
プロデューサー
西 昭比古



会場の様子



ふるさとCM大賞えひめ審査会の様子

賞	30秒CM枠
CM大賞	200回
愛媛県知事賞	100回
市長会会長賞	60回
町村会会長賞	60回
伊予銀行賞	40回
特別賞①	20回
特別賞②	20回
参加賞	5回

ター展開をさせていただきました。
結果、第一回目は全自治体に参加し、CMはなんと45本も寄せられました。90分番組に入りきらず一次審査をしたほどです。
CM大賞は、広告効果だけではなく、町の意識改革をします。
ある町は、小学校高学年に総合学習でCM大賞を採用。町の長所を活かしたCMプランを子どもたちに考えさせました。その夜、家族で夕餉を囲み、町の長所を語り合う光景が浮かぶようです。翌日から、子どもらは町を歩き、良いところを掘り起こします。この町は150を超すアイディアが集まりました。1本だけがCMになりました。落選した子は落胆したでしょうか。いいえ、子どもたちは、ふるさとを再発見し、誇りを抱いたに違いありません。



町村会会長賞授与

を増やしてきました。ここで初めていけるかなと実感し、『わが町自慢を大募集』『まちをPRする大チャンス』と銘打つCMやポス

CM大賞は、県内の観光活性にも役立ちます。観光客は県外よりも県内移動のほうが圧倒的に多く、これを刺激することはいわゆる県内内需につながります。町に魅力がなくては来てもらえないので、町づくりと発信は常に連鎖しています。

現在、えひめで大賞を獲得した作品は東北や長野、九州の系列9局でも放送されています。県外からの観光にも貢献を目指してまいります。

CM作品はまちの宝です。自治体ホームページに動画をアップし、祭りやイベント会場で上映するなど幅広い広報に役立てておられる町もあると聞きます。
ふるさとCM大賞えひめは、おかげさまで次回で7回目の開催となり、これまでに延べ3千回を超す「ふるさとCM」が放送されました。計算しますまい、決してお金ではないのです。CMの内容もハイレベルになり、既成概念にとらわれない感性に、プロの審査委員も舌を巻いています。出品者は、手弁当とボランティアでCMを



大洲市のコマーシャル

作ってくださいます。取引も駆け引きもなく、ただ町のことを思つての行為です。この方々が愛媛を支えているといつても決して過言ではありません。企画準備は、ご案内のように草の根的で、地道な作業の積み重ねです。しかし、これほどふるさとを愛し、発信したい方々が多くいらしたことに誇りを感じています。最初に出会った方々の大半は、今もご参加いただいています。私も最近では千度ぐらいまで温度を下げて良くなりました。

「貨幣」そのものの価値はないが、モノと交換される瞬間に通貨となつて価値を帯びるように、「電波」そのものは空虚です。しかし優秀なコンテンツが乗った瞬間から電波は突如、価値を帯び、メディアとなつて世界をかけ巡ります。今後ともふるさとCM大賞えひめを育てていただけますよう、よろしく願います。
以上、ふるさとCM大賞の成り立ちと効果について拙なくまとめさせていただきます。最後に、次回審査会のご案内を記します。入場無料です。ふるさとの応援席を設けています。お誘いあわせてお越し下さい。

次回ふるさとCM大賞審査会のお知らせ

公開番組収録 ゲスト司会 桂小枝さん 2月26日(日)
松山市総合コミュニティセンター・カメラホール 13:00～16:30
【問い合わせ】(089) 946-9606 eatふるさとCM大賞事務局